

第1回南第三・南第四地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2026年6月22日（月） 9：30～10：33	
開催場所	南第三小学校 多目的ホール（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	山下委員、危委員、和田委員、山岸委員、井能委員、五十嵐委員、内田委員、清水委員、細川委員、大貫委員、◎工藤委員、大波多委員、○貝原委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター
傍聴者	1名	

議事内容（敬称略）

はじめに【学校教育部長挨拶】

学校教育部長 本日は、お忙しい中、南第三・南第四地区新たな学校づくり基本計画検討会にご出席いただき、感謝申し上げます。

まちだの新たな学校づくりは、少子化や学校施設の老朽化といった喫緊の課題への対応にとどまるものではなく、将来を見据えたよりよい教育環境を整備するとともに、地域と学校の新たなつながりを生み出す取組である。これからの学校は、児童・生徒の学びの場であるだけでなく、地域の活動拠点としても利用できる地域活用型学校を目指していく。

2021年5月に策定した新たな学校づくり推進計画では、第1期に位置づけられた5地区の学校で着実に取組を進めてきた。2025年の4月には、学校統合により、本町田ひなた小学校、成瀬小学校が開校し、今年の4月には鶴川中央小学校が開校している。

開校後の学校の状況としては、保護者の方からは、「新しい友達ができて楽しい」と子どもから聞いている、「児童が増えて世界が広がっていることを親として実感している」などのお声をいただいている。また、「子どもたちを見守ってくれる地域の方が増えて心強い」といった学校からの声も届いている。

この南第三・南第四地区は新たな学校づくり推進計画の第2期に位置づけており、昨年11月には意見交換会を開催し、様々なご意見をいただいた。通学の負担軽減や通学路の安全対策、統合前の事前交流をはじめとした人間関係の負担軽減、学校ごとの歴史の継承など、この地区の新たな学校をつくっていくためには検討すべき課題が多くある。

本基本計画検討会では、2つの学校が統合するうえで検討が必要な課題について、保護者の方、地域の方、学校運営協力者の方、教職員の方を交えて検討していく。

教育委員会では、これまで経験してきた学校統合における取組や課題などを皆様方と共有し、検討を重ねながら、子どもたちのためによりよい教育環境づくりをするとともに、地域の活動拠点としての学校づくりも進めていきたいと考えている。

皆様のご協力を重ねてお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

1 新たな学校づくり基本計画検討会について

新たな学校推進課 （資料1－1説明）

〔 委嘱書交付 〕

〔 会長・副会長選任 〕

新たな学校推進課 （資料1－2説明）

〔 委員自己紹介 〕

新たな学校推進課 （資料1－3説明）

2 新たな学校づくりに関する基本情報の共有について

新たな学校推進課 （資料2説明）

3 南第三・南第四地区の新たな学校の概要について

新たな学校推進課 （資料3説明）

学務課 （資料3説明）

施設課 （資料3説明）

委員 プールの集約化について、南第一小学校のプールに移動するということだが、細かいスケジュール感はどうなのか。現在、南第四小学校では2時間続けてプールの授業をやっている。例えば1、2時間目がプール授業の場合、バスで移動して、3時間目に間に合うまでに帰ってこられるのか。移動時間が発生することでプールの授業時間が少なくなってしまうのではないか。

施設課 バス移動の時間割や、授業との兼ね合いについては、現在検討中。

4 基本計画検討会の検討事項及びスケジュールについて

新たな学校推進課 （資料4－1説明）

委員 検討項目について、保護者からいろいろな意見が出ているため、ぜひお伝えしたいと思っている。今日ではなく、それぞれの回で意見を伝えるという形でいいか。

新たな学校推進課 本日も、各項目を取り扱う各回でご発言をいただく形でも構わない。ご意見をいただけると大変ありがたい。

委員 それぞれの回で伝えていく。

5 通学に関する基本方針の策定について

新たな学校推進課 （資料5－1説明）

6 新たな学校づくり意見募集について

新たな学校推進課 （資料6－1 説明）

委員 新しい学校は、今在校している子どもたちの意見もぜひ入れていただきたいと思います。子どもたちが自らクロームブックでアンケートを発信していたりもするため、朝会や夕会の時間に子どもたちに聞いてほしい。今いる児童が一番、学校のいいところや特色、必要な設備も分かっていると思う。また、体育館などを利用している地域開放の利用者の方にもぜひ聞いていただきたい。いろいろな団体が学校を必要としていて、活用している。いいところ、悪いところ、気になるところなどいろいろご意見を持っていると思うため、ぜひ聞いていただきたい。さらに、成瀬駅のセントラルウェルネスクラブなど、地域の子どもたちや、保護者、地域の方が利用する近隣の施設でも周知できると、意見が集まるのではないかなと思う。ぜひご検討いただきたい。

新たな学校推進課 在校している子どもたちには、学校にご協力いただき、朝会や夕会の時間に回答するようお願いをする予定。学校を利用している地域開放の方については、スポーツ振興課や学校に相談し、回答していただけるようにしていきたいと思う。近隣の施設については、こちらでも探し、検討する。

委員 新しい学校は地域の方の利用も考えているということだが、駐車場を広くするような設計になるのか。

施設課 新しくできる学校の駐車スペースについては、建築基準法や都市計画法などとの兼ね合いもあるため、どれくらいの台数分作れるか検討している。

委員 地域の方が利用するにあたって、利用の申込みや、その管理はどうなるのか。

新たな学校推進課 先行している地区、本町田ひなた小学校、成瀬小学校でその仕組みを構築中である。仕組みが構築できたら、南第三・南第四地区へ反映させていくことになるかなと思う。

委員 南第四小学校の門の色は、今、赤門、青門か。

委員 赤門、青門、黄色門。

委員 門の名称について、色なのか、方角なのか、統一して説明してもらえると分かりやすい。

委員 次回通学路を実際に歩くとのことだが、南第三小学校から南第四小学校へ行く道を歩くのか。それとも、例えば金森一丁目であれば、金森一丁目の団地あたりから南第三小学校まで来て、南第四小学校までの道を歩くのか。それによって、2キロ30分というのが変わってくるかなと思う。

2キロという距離は測っていると思うが、30分というのは、集団登校などで6年生がリードをして歩けばいいが、子どもたちの普段の動きを見ていると難しいのではないかなと思う。子どもは、気になるものがあると立ち止まったり、少し寄り道をしたりしている。そうすると、30分では歩けないのではないかなと思う。通学路を歩く

にあたり、こちらのほうでも準備をして、実際にやってみた方がいろいろな話ができるかと思う。ぶっつけ本番ではなかなか意見を言うのが難しいと思う。

南第四小学校のエリアの方たちであれば、30分あれば歩けるのではないかと私は思っているが、南第三小学校のエリアだと少し厳しいと思っている。

新たな学校推進課 ルートについて、どこの道を歩くのかは、現在検討中。

新しく通学路を考える機会は2回ある。まず、南第四小学校が仮校舎に移るときの通学路、次に、南第三小学校と南第四小学校が統合したときに、南第四小学校の位置に向かって歩くための通学路。

今回は、通学路を決めるに当たって、子どもたちがどういう道を通ったら安全なのか、どういう道は避けたらいいのか、というところを、実際に道路を見ながらご意見をいただきたいと思っている。

委員 2回に分けて通学路を検討するというのであれば、1回目で、南第四小学校が南中学校に通う通学路を見るというのはいいと思う。しかし、南第三小学校に通っている子どもの中で、金森一丁目の端に住んでいる子どもたちは、相当な時間がかかるということをご理解いただきたい。また、先ほど、プールの授業でマイクロバスを使うという話があったが、そのマイクロバスを、本当に遠いところに住んでいる子どもたちの通学に使うことはできないのか。

2キロという距離と、30分という時間で区切っていることも分かるが、プールの授業でマイクロバスを使うのであれば、通学に利用できる可能性があるのかどうか検討してほしい。

新たな学校推進課 ご意見を学務課と共有し、検討していく。

委員 この会の議事録は、後日、どういう形で出るのか。また、今後の情報公開について教えてほしい。

新たな学校推進課 この会の資料については、基本的に全てホームページで公開をする。議事要旨についても同様に公開する。委員の皆様のお名前も掲載するが、発言については「委員」という表記で、誰々委員というようには載らないような形としている。

議事要旨は、委員の皆様に確認していただいたうえで公開をする。

7 次回開催予定

新たな学校推進課 第2回基本計画検討会

2026年7月13日（月曜日）9時30分 南第四小学校会議室

会長 （閉会）